

6月議会 振興環境委員会 しもおく議員

6月26日開催の振興環境委員会（振興部関係）での主なやりとりを紹介します。



県民負担と契約内容について問い合わせる

アジア競技大会

2026年に愛知県で開催されることになっているアジア競技大会について質問しました。

しもおく議員は、アジア・オリンピック評議会(OCA)との協議で修正された内容が新聞で報道されるまで、なぜ議会に報告されなかったのかを問い合わせました。県は、「契約の最終調整をしているところで、6月4日開催の『第20回アジア競技大会推進本部』と『第20回アジア競技大会推進議員連盟役員合同勉強会』で報告・説明した。」と答弁。

しもおく議員は、「契約を結ぶ前に全文を公開すべ

きだ」と迫りましたが、県は「秘密保持条項があって公開にはOCAの了解がいるが、できる限り詳しい内容を示せるようOCAと協議する」と述べるにとどまりました。

しもおく議員はさらに大会の経費について、「県民負担が増えることはないのか、負担増大にならないようどうするのか」と追及しました。県は、宿泊施設の提供数の修正、安全・防災、医療サービスの手段や水準について開催都市の裁量を認めさせるように修正していると答えました。

県民をギャンブル依存症や多重債務者に落し入れるカジノ構想はやめるべき

しもおく議員は、カジノを含む統合型リゾート(IR)について問い合わせました。カジノについて多くの反対の声が起こっていることをどう認識しているのか、カジノによる依存症を生み出さないことが必要ではないか、多重債務者を生み出すことになる「特定資金貸付業務」についてどう思うか、カジノの負の影響についてどう認識しているのかなど多岐にわたって質問しました。

県は、「国の動向を見守っていく。依存症対策は国で進められている」と国任せの答弁を行い、「MICEを核とした国際観光都市の具体化に向け検討していく」としました。

しもおく議員は、「カジノは将来に禍根を残す。住民の立場に立ってカジノ構想は取りやめるべきだ」と主張しました。

生活交通の充実を コミュニティバスに県独自の財政支援を

しもおく議員は、「高齢になっても移動が制約されないよう県が生活交通の強化を行うべきではないか」と質問しました。県は、「市町村が地域の実情に応じた生活交通を確保していくことが重要」という答弁をくり返しました。

しもおく議員は、大阪高槻市での「高齢者無料乗車証制度の利用実態」調査で、①社会参加効果、②健康増進効果、③経済効果、④環境負荷低減効果の4つの効果があることが結論付けられたことを紹介して、「地域の振興、地域の活性化につながるよう交通手段の確保に取り組むべきではないか。費用負担を市

町村任せにすることなく県独自の財政支援を行うべきではないか」と追及しました。県は、「市町村がその費用負担をどうするかも含めて対応していくべきもの」と今までの答弁を繰り返すだけでした。

しもおく議員の「県独自の財政支援は必要だと思うが、やらない理由は何なのか？」との再度の質問にも県は、「市町村が行うのが適切である」との答弁に終始しました。

